



令和2年3月8日発行
 旭市立第二中学校
 TEL 0479-62-0049
 FAX 0479-64-0049

学校教育目標 希望を抱き、よりよく課題を解決する逞しい生徒の育成

学校教育活動に関するアンケート

実施期間
 令和元年 11月29日～12月6日
 実施対象 生徒・保護者・職員
 実施方法 アンケート及び記述

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日ご協力いただきました「学校教育活動に関するアンケート」について、臨時PTA総務委員会並びに学校評議員会にて、それぞれの立場からご意見を頂戴しながら調査結果をまとめたところです。

つきましては、本学校だよりにて結果等をお知らせしますので、是非ご一読をお願いいたします。

今回の結果を十分踏まえ、引き続き職員一同より一層の教育活動充実を目指して参りますので、今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【アンケート回収率】

	保護者アンケート	生徒アンケート	職員アンケート
回収率	82.7% (生徒数に対して)	92.8%	100%
備考	生徒数 812名	徒数 812名	職員数 51名

I アンケート集計結果の考察について回答の割合 (%) で比較する。

1 全項目の肯定的な評価の平均

保護者 65.1% (前年度比-2.9%)
 職員 89% (〃 -5%)
 生徒 85% (〃 ±0%)

2 学校運営について

○保護者 NO.3「学校行事のあり方は適切である」

肯定的意見 81.9%と全項目中最高であるが、昨年度と比較すると-5.2%となった。同様に職員回答においても-13%。今年度は業務改善として、学校行事の実施時期を見直し、教員の繁忙期を調整する等の取組をしたため、運営について慣れない部分もあったためと考えられる。次年度はこの反省を踏まえ、修正・調整を検討していく。

○保護者 NO.4「学校は学力向上に努めている」

昨年度と比較すると-4.3%となった。同様に職員回答においても-7%。生徒アンケートにおける NO.12,13「学力向上を目指して、授業、家庭学習に取り組んでいる」はどちらも昨年度よりも上回る結果となっている。生徒にとってわかりやすい授業となるよう今後ともより一層、研修を深め指導力の向上に努めていく。

3 学校安全 or 交通安全

○生徒 NO.7「交通ルールを守り、安全に注意して登下校している」

全項目中、最も高い評価になっている。しかし、今年度の苦情件数等の実態を踏まえると、生徒の意識と実際の交通マナーの差が大きいと考える。また、保護者からの自由記述には交通関係の内容が毎年出されている。休日前や長期休業前には交通安全やマナーについて全校に呼びかけを行っており、今後も継続していく。

○保護者 NO.9「学校は基本的な生活態度の向上、いじめや不登校の解消等に努めている」

56.3%と低い。生徒と向き合う時間や機会を大切にするとともに、いじめアンケートや教育相談週間を活用し、いじめや不登校の未然防止や早期発見につなげるよう、より一層努力していく。また、あいさつや時間を守る事など基本的な生活態度については、学校生活全般を通じて呼びかけ、向上を図りたい。

4 進路・学習について

○保護者 NO.17「生徒は、自分のよいところに気づき、将来設計について考えている」

○生徒 NO.16「将来の進路を考え、その実現を目指して学習に取り組んでいる。」

保護者 NO.17 の項目は昨年度よりも 2.8%回復しているが、45%と項目中一番低い結果となっている。

生徒 NO.16 は 0.8%回復し、77%と自分を振り返り、自分の良さや適性を冷静に見つめることができている生徒が増えていると考えられる。今後とも、認め、励ます場面をより多く持てるよう、授業や学級活動の改善を継続していく必要があると考えられる。また、進路学習＝高校入試といったとらえ方ではなく、自分の適性を知り、視野を広げ、10年、20年後の将来設計を真剣に考える場面を増やしていけるよう、各学年ともキャリア教育の充実を目指していく。

○生徒 NO.20「夜10時以降にスマホやゲームをしないようにしている」

3年連続で下降しており、その誘惑に勝てない姿が見受けられる。スマホの長時間操作や就寝直前の操作が医学的に健康を脅かす報告もある。学校では情報モラル教育や保健だより等で、スマホ等の使い方の指導を今後とも継続していく。また、家庭との連携も大切であると考えており、情報発信を密にしていく。

○生徒 NO.12「学力向上を目指して、授業に取り組んでいる」

○生徒 NO.26「学校以外での1日の学習時間平均はどのくらいですか？」

NO.12 は、2.6%回復し、92.2%の生徒が肯定的に回答している。一方で NO.26 で1時間以上の学習時間は学年によってばらつきはあるものの、64%となっている。授業の様子は、多くの生徒が真剣に臨み、課題にも熱心に取り組んでいる。しかしながら、学習の定着を図るには日頃の授業を振り返る（復習する）必要があり、家庭学習の充実が学力の向上に欠かせない要因である。そこで、学校は今後ともわかる授業の展開を心がけ、授業改善を行うとともに、教師は適度な課題を用意し、家庭と連携しながら家庭学習の充実にも取り組んでいく必要があると考える。

5 部活動について

○保護者 NO.13「部活動の運営は適切に行われている」

○保護者 NO.16「部活動の練習内容や日程、時間は適当である」

○生徒 NO.17「部活動に一生懸命取り組んでいる」

生徒は 91%が部活動への取組を肯定的に回答している。一方で保護者 NO.13、16 では、6 割ほどの肯定的意見である。部活動経営について各顧問には、「部活動の方針」は、生徒が多様な学びの機会を通して、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにするためのものであり、適切な運営を行っていくことが大切であることを再確認します。

保護者に対しては活動方針や計画表など、確実に適切な情報を伝え、更に理解を得ることが必要である。また、多くの保護者が様々な意見を寄せていることから、その意見を十分に受け止め、全ての部活動で共有し、今後の部活動経営に生かしていく。

6 情報発信・開かれた学校について

○NO.21「保護者の意見を参考にしながら、改善に努めている」

前回から-10.6%と一番下がった項目である。また、職員は 100%の回答であり、保護者、職員の差が 43%と一番差が大きい項目となっている。この結果を真摯に受け止めていくとともに、今年度も自由記述のご意見の中で、改善提案をいただいたものに関しては、しっかりと検討していくとともに、改善が図られたものについては、情報発信していく事も大切であると考えます。

II 臨時 P T A 総務委員会・学校評議員会の報告内容について

臨時 P T A 総務委員会・学校評議員会でも、今回の学校評価アンケートの結果をもとに、活発な意見が交わされました。

- ・学校において、教育活動がより効果的なものとなるための基盤として、生徒と教職員、生徒同士、教職員と保護者間の信頼関係に基づく豊かな人間関係の構築が不可欠である。そのためにはそれぞれの立場の人権を大切にする必要がある。
- ・学校行事が適切かどうかの職員回答が低下している。保護者からの意見も検討しながら改善に努めていくと良いのではないか。
- ・「子ども同士の打ち上げをしているので、学校から注意して欲しい」との意見は、多くの保護者は思っているかもしれない。まずは、保護者が許可しないことが大切である。呼ばれない（声がかからない）生徒も出てくるなど別の問題もはらんでいるので、行事のたびに学校側からもしっかりと呼びかけて欲しい。
- ・お互いにコミュニケーションをとっているかどうかで保護者の意見も変わる。同じように先生によってもその評価も変わってくる。学校と家庭の連携が何よりも大切ではないか。
- ・生徒達は非常に良くやっている。気遣いもでき、自分をしっかり出している。良い雰囲気だと感じる。
- ・いじめは、先生に見えないところで起こる。見えにくいのでその点を踏まえ、注意してみてもらえればと思う。
- ・自主学習については、実際に家ではなかなか取り組まない。学校の課題であれば、仕方なくでも取り組む。学校から言ってもらえると違うので、自主学習推進の取組は引き続きお願いしたい。
- ・安全管理を徹底していきたい。事故が起きてからでは遅い。注意してもなかなか直らないこともあるかもしれないが、発信していかないといけない。いじめ等のメンタルケアも大切だと考えるので、フォローをお願いしたい。

- ・保護者には自分の子どもに対する理想や、こうなって欲しいという願いがある。その理想や願いを叶えてくれる学校像への期待がこのアンケートに表れていると思うので、協力していきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に対する臨時休業等の取組の中で、生徒への学力に影響が出ないだろうか。また、悪い方向に向かわないだろうか心配している。
- ・マークシート形式のアンケートをメール配信の仕組みを活用して、答えやすくなるとよいと思う。先生達の集計もしやすくなり、業務改善につながるのではないかな。

それぞれの立場から、前向きなご意見をたくさん頂戴しました。今後、様々な課題を改善するには、保護者と学校の協力体制がより大切であり、それが子どもたちにとっても大きなプラスになることを最後に確認し終了しました。